

# 優先交渉権者選考審査基準

評価分類		配点	評価基準	
大項目	小項目		評価項目	評価のポイント
1.事業実施全般	1.1.本事業への取り組み・コミットメント	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>提案全般の総括を示すと共に、事業者、構成企業、提供サービス等の特徴を提案すること。</li> <li>利用者満足度や業務改善目標等、本事業の実施評価指標を採用理由と共に示し、各目標の効果測定の指標及び具体的な算出方法を提案すること。</li> <li>リスク対策の考え方、事業者の取り組み事例を示し、リスクを最小化するための提案があれば示すこと。</li> <li>教育情報セキュリティポリシーに基づいた環境分離の設計・構築等の実施済みの実績を示すこと。</li> <li>その他委託者へ提案する内容について示すこと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種仕様書、提案要求事項等を網羅しているか。</li> <li>提案内容全体がポイントを押さえ、分かりやすく整理されているか。</li> <li>事業者の提供サービスや提案内容の特徴が表現され、委託者のメリットやリスクが整理されているか。</li> <li>指標や目標が具体的な理由と共に明示されているか。</li> <li>事業継続や障害対応、セキュリティ対応を含め、リスク分類とその対応が整理されているか。</li> <li>リスクを最小化するための提案が行われているか。</li> <li>本事業と同様の受託実績が十分か。</li> <li>コミットメントは抽象的なものでなく、具体的な成果や便益の伴うものか、委託者への貢献度が高いか。</li> </ul>
	1.2.サービス提供体制・スケジュール	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>各フェーズにおける体制及び主要メンバー（サービス提供開始まで交代は原則認めない）の能力・経歴・本プロジェクトに対する稼働割合について具体的に示すこと。</li> <li>各フェーズの作業構成（WBS）を示し、WBS単位での詳細スケジュールを示すこと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種仕様書、提案要求事項等を網羅しているか。</li> <li>プロジェクトマネージャ及び各リダーは、能力・経歴共に信頼に足る人物か。</li> <li>WBSが適切に分解され、WBS毎のスケジュールが示され、プロジェクト全体を網羅しているか。</li> </ul>
	1.3.マネジメント	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題管理、リスク管理、進捗管理、品質管理、性能管理等、プロジェクトマネジメントに関する具体的な手法について、用いるツールやドキュメントのテンプレートや事例を示しつつ提案すること。</li> <li>委託者と円滑なコミュニケーションを図り、認識のずれを防止するための取り組みや、それに関連するマネジメントプロセスについて具体的に提案すること。</li> <li>セキュリティ対策や障害発生時のトラッキング方法等について示すこと。</li> <li>危殆化時の対応、セキュリティの検証方法・監査方法等について具体的に提案すること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種仕様書、提案要求事項等を網羅しているか。</li> <li>各種プロジェクトマネジメントの内容が具体的に示されているか。</li> <li>委託者の各部門と確実なコミュニケーションを図るための考え方、手法、ツール、ドキュメント等が具体的に示されているか。</li> <li>技術だけでなく、業務的・社会的なセキュリティやリスクについて、事例等を踏まえ対策が示されているか。</li> <li>セキュリティ対策は具体的に漏れなく定められ、効率的に運用されるか。</li> <li>プロジェクトマネージャは全ての手法について深い理解と経験を有しているか。</li> </ul>
	小計	20		
2.サービス構築	2.1.ネットワークサービス	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>提供するデータセンタ、ルータ、アクセスポイント等ネットワーク関連の構成を示すこと。運営管理期間中に構成を変更する予定がある場合には、その計画についても示すこと。</li> <li>保証する性能水準、サービス時間、品質水準等について、数値により示すこと。</li> <li>コストを抑制し柔軟性を保ちつつ、高い運用品質を達成するための設計や取組みに関する工夫があれば示すこと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種仕様書、提案要求事項等を網羅しているか。</li> <li>構成が具体的に示され、運営管理期間中の計画が明示されているか。</li> <li>主要な要件について、それぞれ具体的に実現手法や工夫が示されているか。</li> <li>サービスの性能・提供時間・品質がサービス仕様書を満たしているか、性能評価方法は適切か。</li> <li>構築手法や採用する技術、設計など、それぞれの要素が分かりやすく整理され、工夫されているか。</li> <li>提案された設計や手法などは実効性が高いか。</li> </ul>
	2.2.システムサービス	20	<ul style="list-style-type: none"> <li>提供するサービスの構成や機能を示すこと。運営管理期間中に構成を変更する予定がある場合には、その計画についても示すこと。</li> <li>セキュリティを踏まえたユーザー管理の手法及び考え方を示すこと。</li> <li>保証する性能水準、サービス時間、品質水準等について、数値により示すこと。</li> <li>データの移行方法、アカウント等の運用管理方法について示すこと。</li> <li>利用者のユーザビリティを高める工夫があれば示すこと。</li> <li>コストを抑制し柔軟性を保ちつつ、高い運用品質を達成するための設計や取組みに関する工夫があれば示すこと。</li> <li>その他、要件を実現するための工夫について示すこと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種仕様書、提案要求事項等を網羅しているか。</li> <li>構成が具体的に示され、運営管理期間中の計画が明示されているか。</li> <li>主要な要件について、それぞれ具体的に実現手法や工夫が示されているか。</li> <li>利用者がわかりやすく使う工夫がされているか。</li> <li>構築手法や採用する技術、設計など、それぞれの要素が分かりやすく整理され、工夫されているか。</li> <li>提案された設計や手法などは実効性が高いか。</li> <li>利用するソフトウェア等について、フリーソフトウェア等によりコストの低減が工夫されているか。</li> </ul>
	2.3.サービス拡張性	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>ネットワーク及びシステムサービスに関する今後の教育系ICT整備に係わる考え方・拡張性・対応等を示すこと。</li> <li>今後の教育系ICT整備に関して、最適な整備方法を提案すること。</li> <li>文部科学省が示す「教育情報セキュリティポリシーに関するガイドライン」の対応策について、具体的な内容を示すこと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種仕様書、提案要求事項等を網羅しているか。</li> <li>今後の教育系ICTの整備動向を理解し、将来性・拡張性を踏まえた内容となっているか。</li> <li>セキュリティ設計・管理は国の指針に則った方法となっているか。</li> <li>システムだけではなく、運用に関わる設計やルール策定の具体的な手法が示されているか。</li> <li>教職員の業務負荷軽減や運用に対し、具体的な対応が示されているか。</li> </ul>
	小計	40		
3.サービス品質	3.1.運営・サポート体制、障害対応	20	<ul style="list-style-type: none"> <li>運営の全体像を示し、品質を維持しつつ効率的な良い運営を実現するための工夫について示すこと。</li> <li>サポート拠点、サポート関係者のスキルや体制を示すこと。</li> <li>利用者へのサポート内容を示し、達成すべきサポート品質について具体的に示すこと。</li> <li>SIサービスの品質確保に向けた取組みについて具体的に提案すること。</li> <li>業務効率や業務品質を向上させるための取組みや工夫があれば示すこと。</li> <li>利用者サービスに影響を与えるサービス停止の考え方について示し、障害発生時における検知、切り分け・原因究明方針、目標対応時間等について、障害の種類別に具体的に提案すること。</li> <li>障害の発見方法・連絡フロー・駆けつけ、復旧フロー等、具体的な障害対応プロセスについて提案し、目標対応時間・保証対応時間について定義すること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種仕様書、提案要求事項等を網羅しているか。</li> <li>利用者に対し質の高いサポートが提供できる工夫がされているか。</li> <li>サポート拠点が委託者近郊に設けられ、スキルの高いサポートが即時に提供されるか。</li> <li>運営全体の品質・リスクをカバーできるような運営方法が工夫されているか。</li> <li>SI品質を適切に維持するために企業全体での取組みが行われているか。</li> <li>サービス停止時間の考え方、障害の種類・影響度等が分類され、内容別の対応策が具体的に示されているか。</li> <li>障害検知方法、委託者への連絡フロー、障害復旧体制は適切かつ具体的に示されているか。</li> <li>障害復旧の目標値が詳細に定められているか。</li> </ul>
	3.2.ヘルプデスク	15	<ul style="list-style-type: none"> <li>ヘルプデスクの運営手法、サービス内容について具体的に提案すること。</li> <li>端末管理の手法について具体的に提案すること。</li> <li>FAQ、マニュアル、ビデオ、ガイダンスなど、利用者が自律的に理解する手法について提案すること。</li> <li>オンラインコミュニティなど、利用の促進やノウハウの記録に役立つ仕組みがあれば提案すること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種仕様書、提案要求事項等を網羅しているか。</li> <li>端末が効率的に管理されているか。</li> <li>利用者が分かりやすくシステムを利用できるか。</li> <li>各種問い合わせに対し、実績を踏まえたノウハウの提供がされているか。</li> </ul>
	3.3.運営支援	15	<ul style="list-style-type: none"> <li>セキュリティ運営にかかる対策及び運営方法について、具体的に提案すること。</li> <li>セキュリティポリシーの策定を支援すること。</li> <li>ICTリテラシー向上のための手法、対応を具体的に提案すること。</li> <li>本市教育系ICT整備全体に係わる有効な提案を実施すること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種仕様書、提案要求事項等を網羅しているか。</li> <li>セキュリティ対策に関する効果的な取組みがされているか。</li> <li>教育情報セキュリティに対する理解が深く、具体的な対策が示されているか。</li> <li>ICTリテラシーを向上させ、利用を促進する仕組みが工夫されているか。</li> <li>新学習指導要領等、既知の内容に対して具体的なアプローチがされているか。</li> <li>本市教育系ICT環境整備全般に係わる提案がされ、効果的な内容となっているか。</li> </ul>
	小計	50		
4.その他	4.1オプション提案	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>業務仕様書に記載のオプション提案について、具体的に提案すること。</li> <li>その他、本事業やシステム・サービスに関連し、甲府市教育委員会にとって有意な提案やサービスに関する自由提案があれば提案すること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>提案内容が具体的に示され、実効性が高いか。</li> <li>甲府市教育委員会にとって有意な提案であり、効果が高いか。</li> <li>特異性のある提案がされているか。</li> <li>コスト低減の工夫がされている提案となっているか。</li> </ul>
	小計	10		
技術点合計		120		
価格点		20		
合計		140		